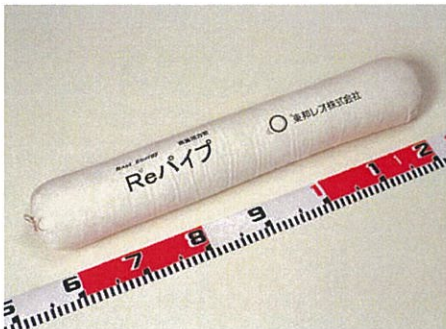


根系活力管

Reパイプ

■Reパイプとは

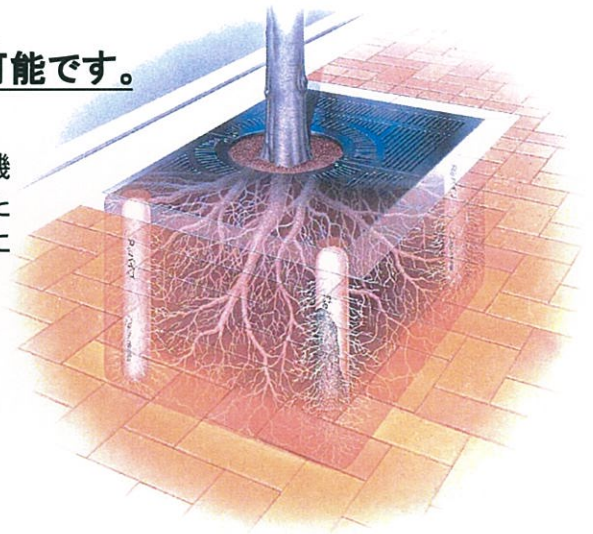
**樹木の周囲に埋めるだけの樹勢回復資材です。
狭い植樹や低木が密植された場所での施工も可能です。**



Reパイプは、有機・無機の土壌改良材を混合したものを生分解性の袋に詰めたものです。

【規格】
Φ100mm L=0.6m

【注意】水位の高さが原因で樹勢が悪くなっている場合は、Reパイプの使用により有機物が腐り、逆効果になることがありますのでご注意ください。



【Reパイプの3大特徴】

長期的に土壌条件を整える

微生物を多く含む良質堆肥が長期に渡り効果を持続。

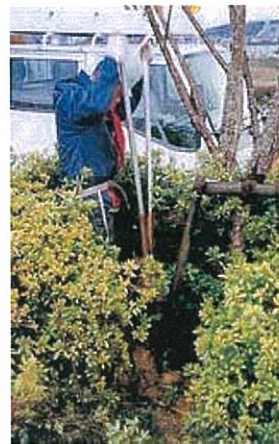
簡単施工（狭い場所でも有効）

φ100 L=0.6のReパイプを樹木の四方に埋めるだけ。

周辺土壌となじみやすい

Reパイプの袋は自然分解し、根の侵入を妨げません。

■施工の様子



ダブルスコップや、オーガドリルで60cm程度掘削して埋めます。

■樹勢回復事例



施工後
1年



施工後
2年3ヶ月



施工後
3年3ヶ月



Reパイプの設置位置は裏面をご確認下さい

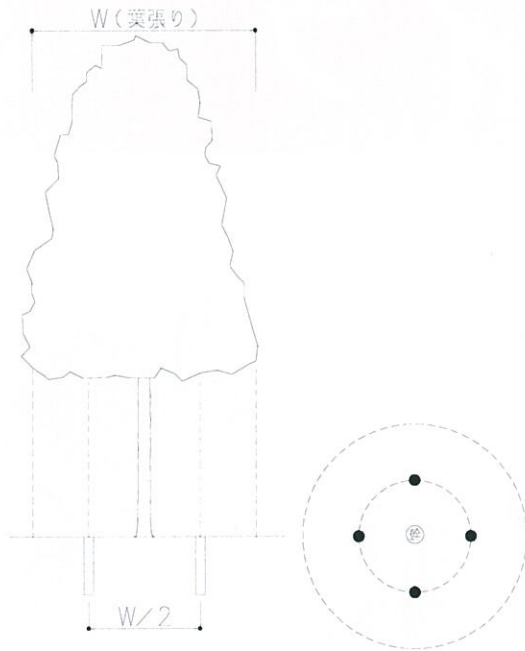
■ Reパイプの設置位置

● Reパイプ

【公園など、周辺に構造物がない場合】

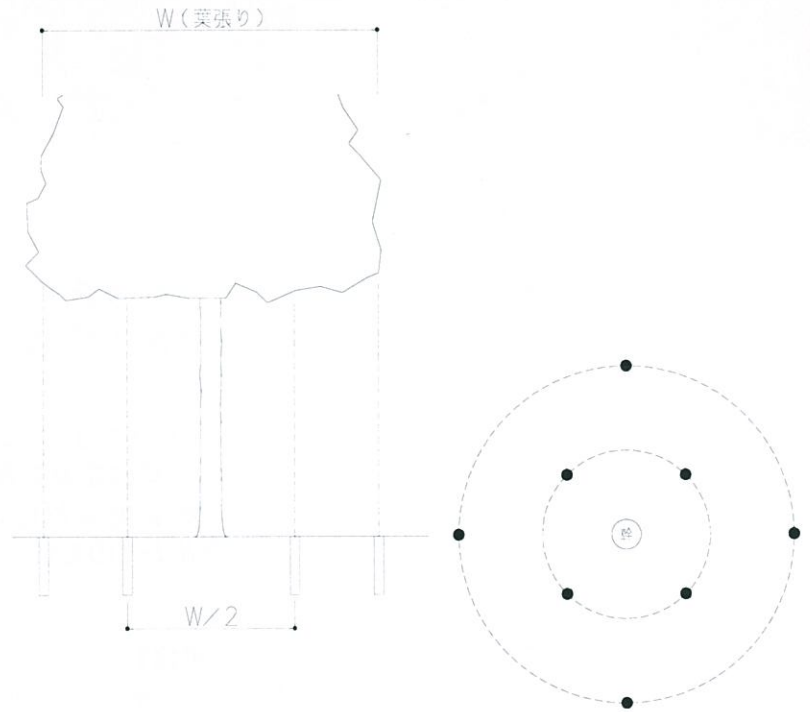
＜H=4m程度＞

葉張りの約半分の距離に4本程度



＜H=10m程度＞

葉張りの約半分と葉張りの幅に交互に設置

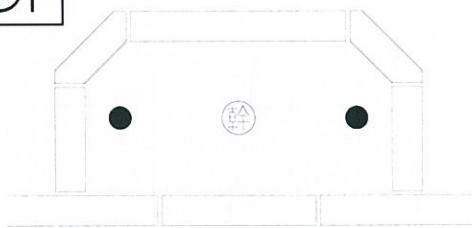


【街路樹の場合】

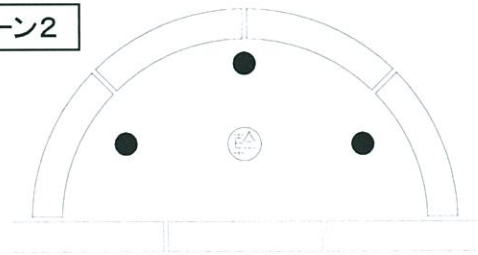
植木の形状や大きさに合わせて、以下のパターン図を参考にして設置して下さい。

Reパイプの設置位置は、葉張りの幅を目安にしてください。

パターン1



パターン2



パターン3



【施工上の注意事項】

- ・樹勢回復が目的の為、穴を掘る際には、あまり根を傷つけない様にお薦め致します。以下の場合は、設置位置の調整が必要です。
 - ①太根に直接あたる場合は避けるか、幹から遠ざける。
 - ②設置位置に根が全く無い場合は、多少根が出てくるような位置まで木に近づける。
- ・施工後、設置穴に水をかけてください。

■お取扱上の注意事項

1. 樹勢衰退要因と回復処理方法は様々です。効果が見受けられない場合はご相談ください。
2. **長期保管はできません。**微生物の動きにより、保管中にも外袋の分解は進行します。製品到着後は梱包をなるべく早く解き、湿度や温度の高い所を避け乾燥した場所に保管し、7日以内にご使用ください。保管状態により、7日以内でも外袋が分解する事がありますので、ご注意ください。
3. 生分解品につき、受注生産となります。本数や納品場所によりお届けは、受注後2～3週間かかる場合がございます。